

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ  
 コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 青木 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐子 弘和  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大

TEL 06-6376-8088

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	50,398	21.8	162	△73.3	110	△81.6	△240	—
21年3月期第3四半期	41,385	—	609	—	602	—	101	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△24.06	—
21年3月期第3四半期	10.08	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	51,410	19,578	28.9	1,488.08
21年3月期	52,501	20,520	29.6	1,553.92

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 14,859百万円 21年3月期 15,517百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	20.00	—		
22年3月期 (予想)				20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,500	18.1	400	—	300	—	△500	—	△50.07

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	11,025,032株	21年3月期	11,025,032株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,039,558株	21年3月期	1,038,996株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	9,985,650株	21年3月期第3四半期	10,027,504株
----------------------	-------------	------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関わる記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれており、世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要素により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコ減税など景気対策により、一部耐久消費財に内需回復の兆しは見られるものの、デフレ懸念、不安定な為替相場等から厳しい状態が続いております。個人消費においても低迷を続け、国内景気の先行きに不透明感が強まっております。

このような環境のもと、持ち帰り弁当事業部門では、徒に出店攻勢、価格競争に走ることなく、収益力向上に向けた体制を構築することで、「ほっかほっか亭」ブランドの更なる価値向上に努めてまいりました。また、顧客満足度の向上を目指すスマイルアップ講習や中堅幹部向けの研修制度の充実を図り、接客技術、収益マインド、経営者感覚を身につける従業員教育に注力いたしました。店舗委託運営部門では、「選択と集中・原点回帰」を基本方針として、業務委託店舗約600店舗という経営資源を誇る主力事業「店舗運営事業」を核とした事業戦略を展開することにより、企業グループの価値向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高503億98百万円（対前年同期比21.8%増）、営業利益1億62百万円（対前年同期比73.3%減）、経常利益1億10百万円（対前年同期比81.6%減）、四半期純損失2億40百万円（前年同期は四半期純利益1億1百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりです。

なお、第3四半期連結累計（会計）期間より、事業の種類別セグメントの「店舗不動産事業」を「店舗管理事業」へ、「プライベート・エクイティ事業」を「資産管理事業」にそれぞれ名称変更しております。事業実態に、より適した名称への変更であり、セグメントの区分に変更はありません。

#### ① 持ち帰り弁当事業

創業時より食の安全、安心の追求を続け、また、環境に優しいBGプロ無洗米を定着化させ、長年に亘り使用いたしております。多種多様な消費者ニーズに応えるため、定番商品の磨き上げ、季節限定商品の定着化、お値打ち商品の導入により、品質の向上と価格帯の充実を図って参りました。また、「骨付きローストチキン」、「ソースかつめし」等の意欲的商品とともに、時間帯を限定した「ごちそう御膳」の導入など、きめ細かい情報収集と分析に基づく新商品開発を行っております。

持ち帰り弁当事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は244億25百万円（対前年同期比8.4%増）、営業利益は6億3百万円（対前年同期比54.9%減）となりました。

#### ② 店舗運営事業

店舗運営事業におきましては、時代にマッチした業態での出店が進み、安定した顧客基盤を有しております。業務委託型店舗につきましては、業態の好不調により店舗ごとに顧客の入替えは相応にあるものの、今後も安定した出店推移が見込まれ、当社グループにおける主要事業として売上・利益に寄与する見込みであります。

しかしながら、当第3四半期累計期間におきましては、一部大型店の契約の切り替えがあった関係により、利益面を押し下げました。

この結果、店舗運営事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は201億10百万円（対前年同期比38.1%増）営業利益60百万円（対前年同期比55.0%減）となりました。

#### ③ 店舗管理事業と資産管理事業

店舗管理事業におきましては、不動産市況が軟弱となる中で当社グループの持つ情報網を駆使し高い入居率を維持することにより、安定的な収益を確保できました。一方、資産管理事業におきましては、投資先企業の評価を厳格に行い、7百万円の評価損を計上いたしました。

この結果、店舗管理事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は2億24百万円（対前年同期比17.3%減）、営業利益1億90百万円（対前年同期比115.4%増）となりました。また、資産管理事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は30百万円（対前年同期比73.8%減）、営業損失30百万円（前年同期は営業損失3億69百万円）となりました。

#### ④ 店舗コンサルティング事業

店舗コンサルティング事業におきましては、一昨年12月より寿司チェーンをグループ化したことにより売上高は伸長しているものの、コスト負担は賄いきれず、収益の確保には至りませんでした。しかしながら、同寿司チェーンのコスト改革は大きく進んでおり、今後はグループの収益に寄与していく予定です。

この結果、店舗コンサルティング事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は39億80百万円（対前年同期比125.4%増）、営業損失1億57百万円（前年同期は営業損失1億1百万円）となりました。

#### ⑤ その他の事業

店舗総合サービス事業につきましては、与信管理に重点をおいた政策に転換しております。またフレッシュ・ベーカーリー事業におきましては、品質・商品価値の向上に努めるとともに、お客様のニーズに応える新商品の開発に努めております。新たに「アップルロール」や「カラメルカスタード」等の商品を発売し、非常に好評をいただいております。

その他の事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は16億27百万円（対前年同期比23.5%減）、営業利益10百万円（対前年同期比93.0%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億91百万円減少し、514億10百万円となりました。主な要因としましては、建物及び構築物の取得等に伴い固定資産は5億10百万円増加いたしましたが、流動資産において、現金及び預金、売掛金の減少等により16億2百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少し、318億31百万円となりました。短期借入金及び長期借入金の純増加はあったものの、主に未払金、未払法人税等の減少によるものであります。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ、9億42百万円減少し195億78百万円となりました。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ65.84円減少し1,488.08円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の29.6%から0.7ポイント低下し28.9%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期の業績予想につきましては、平成22年2月12日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

#### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ②一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定する方法によっております。

#### ③法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定について、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断について、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用する方法によっております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,450,270	7,597,715
受取手形及び売掛金	3,005,511	3,213,385
有価証券	923,123	402,061
商品及び製品	1,064,675	872,255
原材料及び貯蔵品	208,058	130,425
繰延税金資産	80,921	198,943
その他	2,246,652	3,192,916
貸倒引当金	△49,412	△75,629
流動資産合計	13,929,801	15,532,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,115,420	10,510,595
機械装置及び運搬具（純額）	142,279	145,081
工具、器具及び備品（純額）	1,457,863	1,396,974
土地	11,932,947	11,667,652
リース資産（純額）	170,748	185,679
建設仮勘定	110,335	319,001
有形固定資産合計	24,929,594	24,224,985
無形固定資産		
のれん	552,011	529,030
その他	273,234	166,773
無形固定資産合計	825,245	695,804
投資その他の資産		
投資有価証券	1,693,129	2,236,630
長期貸付金	278,250	278,803
敷金及び保証金	7,294,210	7,037,994
繰延税金資産	382,304	785,388
その他	3,345,497	2,739,212
貸倒引当金	△1,267,764	△1,029,202
投資その他の資産合計	11,725,628	12,048,826
固定資産合計	37,480,468	36,969,615
資産合計	51,410,270	52,501,690

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,529,604	3,342,846
短期借入金	3,503,700	—
1年内返済予定の長期借入金	4,555,152	6,001,972
未払金	1,491,871	2,029,672
未払法人税等	64,432	462,374
未払消費税等	183,504	143,241
賞与引当金	108,185	243,666
その他	2,119,884	2,167,122
流動負債合計	15,556,334	14,390,895
固定負債		
社債	227,500	120,000
長期借入金	11,838,646	13,734,435
退職給付引当金	55,380	28,123
負ののれん	218,165	264,914
長期預り保証金	2,985,983	2,683,620
繰延税金負債	278,832	295,675
その他	670,990	463,550
固定負債合計	16,275,499	17,590,319
負債合計	31,831,833	31,981,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,886	3,930,886
利益剰余金	8,542,711	9,183,150
自己株式	△1,515,077	△1,514,585
株主資本合計	14,995,169	15,636,101
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△135,946	△118,578
評価・換算差額等合計	△135,946	△118,578
新株予約権	3,344	32,912
少数株主持分	4,715,869	4,970,039
純資産合計	19,578,436	20,520,475
負債純資産合計	51,410,270	52,501,690

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	41,385,115	50,398,699
売上原価	31,412,884	38,112,066
売上総利益	9,972,230	12,286,633
販売費及び一般管理費	9,362,779	12,124,099
営業利益	609,451	162,534
営業外収益		
受取利息	53,919	35,167
受取配当金	7,620	5,423
投資有価証券売却益	23,085	7,935
受取賃貸料	126,556	157,274
負ののれん償却額	47,532	79,136
業務委託契約解約益	102,406	261,003
持分法による投資利益	—	13,130
匿名組合投資利益	36,705	—
その他	106,403	259,619
営業外収益合計	504,231	818,691
営業外費用		
支払利息	200,817	252,975
投資有価証券売却損	57,581	—
賃貸費用	30,824	48,507
店舗敷金償却	19,472	—
持分法による投資損失	20,864	—
業務委託契約解約損	110,638	179,101
その他	70,765	389,993
営業外費用合計	510,964	870,577
経常利益	602,718	110,647
特別利益		
固定資産売却益	6,364	49,026
貸倒引当金戻入額	6,446	1,259
投資有価証券売却益	—	94,080
関係会社株式売却益	159,845	—
抱合せ株式消滅差益	—	7,430
新株予約権戻入益	—	29,567
その他	33,954	2,089
特別利益合計	206,611	183,453
特別損失		
固定資産除却損	160,127	212,398
投資有価証券評価損	415,324	—
減損損失	25,634	15,402
のれん償却額	290,426	—
貸倒引当金繰入額	128,432	—
債務保証損失引当金繰入額	50,000	—
その他	49,376	—
特別損失合計	1,119,321	227,800
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△309,991	66,301

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
法人税、住民税及び事業税	554,233	384,364
法人税等還付税額	—	△14,143
法人税等調整額	△248,169	524,039
法人税等合計	306,063	894,259
少数株主損失(△)	△717,104	△587,671
四半期純利益又は四半期純損失(△)	101,049	△240,286

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	17,032,913	15,991,853
売上原価	13,314,687	12,183,392
売上総利益	3,718,226	3,808,460
販売費及び一般管理費	3,335,301	3,594,481
営業利益	382,924	213,979
営業外収益		
受取利息	25,004	12,098
受取配当金	1,296	1,199
投資有価証券売却益	72	—
受取賃貸料	43,339	46,001
負ののれん償却額	15,583	15,583
業務委託契約解約益	6,640	125,813
持分法による投資利益	10,772	938
金利スワップ評価益	15,637	2,787
その他	25,546	90,535
営業外収益合計	143,893	294,957
営業外費用		
支払利息	89,268	81,855
賃貸費用	5,943	9,852
店舗敷金償却	8,815	—
業務委託契約解約損	23,877	68,675
その他	17,917	159,745
営業外費用合計	145,822	320,127
経常利益	380,996	188,809
特別利益		
固定資産売却益	3,263	16,220
貸倒引当金戻入額	—	△6,586
その他	6,750	2,089
特別利益合計	10,013	11,723
特別損失		
固定資産除却損	1,942	70,812
投資有価証券評価損	17,045	—
減損損失	—	15,402
貸倒引当金繰入額	128,432	—
債務保証損失引当金繰入額	50,000	—
特別損失合計	197,420	86,214
税金等調整前四半期純利益	193,589	114,318
法人税、住民税及び事業税	244,411	190,323
法人税等調整額	△131,731	32,091
法人税等合計	112,679	222,414
少数株主損失(△)	△61,926	△188,456
四半期純利益	142,835	80,360

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△309,991	66,301
減価償却費	1,270,406	1,770,819
のれん償却額	500,271	44,885
貸倒引当金の増減額(△は減少)	116,811	209,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,523	△139,762
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	50,000	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,128	14,355
受取利息及び受取配当金	△61,540	△40,591
支払利息	200,817	252,975
為替差損益(△は益)	357	—
持分法による投資損益(△は益)	43,848	△13,130
有形固定資産売却損益(△は益)	△6,364	△49,026
固定資産除却損	160,127	212,398
減損損失	25,634	15,402
投資有価証券売却損益(△は益)	34,495	△102,015
投資有価証券評価損益(△は益)	415,324	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△159,845	—
売上債権の増減額(△は増加)	△584,974	309,003
たな卸資産の増減額(△は増加)	△230,584	△203,115
仕入債務の増減額(△は減少)	988,594	△98,183
未払消費税等の増減額(△は減少)	69,597	△49,598
その他	△250,521	368,512
小計	2,218,813	2,568,329
法人税等の支払額	△752,526	△793,351
法人税等の還付額	3,312	114,792
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,469,599</b>	<b>1,889,770</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息及び配当金の受取額	83,868	40,761
定期預金の預入による支出	△19,086	—
有形固定資産の取得による支出	△1,592,297	△3,102,065
有形固定資産の売却による収入	310,533	568,403
有形固定資産の除却による支出	△14,347	—
無形固定資産の取得による支出	△82,986	△213,989
無形固定資産の売却による収入	—	59,600
投資有価証券の取得による支出	△12,447	△68,400
投資有価証券の売却による収入	342,835	175,163
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,679,033	133,911
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△236,304	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△109,576	△47,365
貸付けによる支出	△24,311	△26,712
貸付金の回収による収入	41,728	39,668
保険積立金の払戻による収入	18,888	—
保証金の純増額(△は減少)	△809,263	△130,674
その他	△557,579	△140,140

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,018,689	△2,711,837
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△187,579	△242,303
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,510,000	3,492,750
長期借入れによる収入	4,160,000	1,710,000
長期借入金の返済による支出	△2,556,657	△5,207,579
社債の発行による収入	—	250,000
社債の発行による支出	—	△9,645
社債の償還による支出	△76,700	△107,500
少数株主からの払込みによる収入	99,000	151,800
自己株式の取得による支出	△157,428	△492
配当金の支払額	△425,182	△365,648
リース債務の返済による支出	—	△46,536
その他	—	△43,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,654,547	△418,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△357	△161
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△166,616	△1,240,575
現金及び現金同等物の期首残高	8,243,376	7,497,715
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	92,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,076,759	6,349,261

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	持ち帰り 弁当事業 (千円)	店舗運営事業 (千円)	店舗不動産 事業 (千円)	店舗コンサルテ ィング事業 (千円)	プライベート・ エクイティ事業 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	22,535,839	14,567,481	270,946	1,766,147	116,005
(2) セグメント間の内部売上高又 は振替高	4,026,371	45,351	2,673	18,400	72,000
計	26,562,211	14,612,833	273,619	1,784,547	188,005
営業利益又は営業損失（△）	1,337,410	133,917	88,260	△101,912	△369,855

	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	2,128,695	41,385,115	—	41,385,115
(2) セグメント間の内部売上高又 は振替高	3,715,025	7,879,822	(7,879,822)	—
計	5,843,721	49,264,938	(7,879,822)	41,385,115
営業利益又は営業損失（△）	154,789	1,242,610	(633,158)	609,451

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	持ち帰り 弁当事業 (千円)	店舗運営事業 (千円)	店舗管理事業 (千円)	店舗コンサルテ ィング事業 (千円)	資産管理事業 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	24,425,051	20,110,804	224,038	3,980,452	30,355
(2) セグメント間の内部売上高又 は振替高	407,585	2,863,342	237,199	3,436	—
計	24,832,637	22,974,147	461,237	3,983,889	30,355
営業利益又は営業損失（△）	603,552	60,278	190,076	△157,744	△30,066

	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	1,627,997	50,398,699	—	50,398,699
(2) セグメント間の内部売上高又 は振替高	2,122,345	5,633,909	(5,633,909)	—
計	3,750,342	56,032,609	(5,633,909)	50,398,699
営業利益又は営業損失（△）	10,874	676,971	(514,437)	162,534

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 当第3四半期連結会計期間より、従来の「店舗不動産事業」から「店舗管理事業」へ、「プライベート・エクイティ事業」から「資産管理事業」へ名称変更いたしました。

なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

3. 各事業の主なサービス

- (1) 持ち帰り弁当事業………弁当・惣菜の製造販売及び製造販売指導並びに食材などの提供
- (2) 店舗運営事業………業務委託型飲食店舗の運営、サブレント等
- (3) 店舗管理事業………飲食店舗ビルを中心とした賃貸管理等
- (4) 店舗コンサルティング事業………業態開発・発掘、店舗運営本部、店舗再生コンサルティング等
- (5) 資産管理事業………資産管理、飲食ビジネスの支援等
- (6) その他の事業………物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サポート事業、店舗人材関連事業など

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

在外支店及び在外子会社はありませんので、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

海外売上高はありませんので、該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
連結子会社の増資引受	
当社は、平成22年1月29日開催の臨時取締役会において、連結子会社であるTRNコーポレーション株式会社の第三者割当増資の引受を決議いたしました。当該第三者割当増資の内容は以下のとおりです。	
(1) 連結子会社の概要	
①名称	TRNコーポレーション株式会社
②設立年月日	平成12年3月13日
③事業内容	店舗運営事業、店舗管理事業、店舗コンサルティング事業等
④資本金	4,903,710千円
(増資後資本金)	5,334,210千円)
⑤発行済株式数	74,495株
(増資後発行済株式数)	116,495株)
(2) 引受の概要	
①引受株式数	普通株式 42,000株
②引受価額	1株につき金20,500円
③引受価額の総額	861,000,000円
④引受の目的	事業基盤の強化と財務面の健全性の強化およびグループシナジーの追求を目的としております。
(3) 引受前後の所有株式の状況	
増資前の所有株式数	38,690株 (所有比率51.9%)
増資後の所有株式数	80,690株 (所有比率69.3%)
(4) 日程	
平成22年1月29日	取締役会決議
平成22年2月16日	申込・払込期日